



一般農業 (農業・畜産)

農業県やまがたを支える技術職

- 主な業務：新品種開発等の研究、農業者の技術的支援、栽培技術や農業経営の改善に関する普及活動、6次産業化への支援 など
- 主な配属先：農業総合研究センター、総合支庁農業技術普及課、農林水産部 など

現在の担当業務 (農業) は

果樹担当として主に東根市の栽培技術指導を行っています。現地の生育状況や調査の結果等から生産者にタイムリーな情報提供を行うことを心掛けています。生産者と直接関わる機会が多く、美味しい農産物を作る苦労や楽しみを一緒に分かち合える魅力的な業務です。

県職員を選んだ理由は

大学で学んだことを活かしながら、地元で貢献できる仕事をしたいという思いがありました。加えて県職員は幅広い知識を身に付けられると思いを志望しました。

県職員に興味がある方へメッセージを

一般農業職は、生産者の所得や消費者の食を支えるため、責任感とやりがいのある仕事です。熱意のある生産者の方々とともに成長し、山形県の農業を盛り上げていきたいと思います。

幅広い業務に携われることに魅力を感じました



田村 奏瑛

農業総合研究センター
養豚研究所
(令和5年度採用)

現在の担当業務 (畜産) は

母豚や子豚へのワクチン接種の効果を調査しています。サンプル採取や分析など、最初は慣れない事ばかりでしたが、周囲の方に手伝っていただきながら少しずつできるようになり、日々やりがいを感じています。

職場では、分からないことや相談したいことを気軽に話せまし、現場の方と休憩時間に雑談したりと、穏やかな雰囲気です。

県職員になって良かったことは

様々な業務を経験できる仕事に就きたいと考えていました。その点、県職員は畜産に関わる幅広い業務ができる点に魅力を感じ、選びました。

ワーク・ライフ・バランスは

自分の作業予定に合わせて休暇を取ることができるため、思っていたよりもまとまった休みが取りやすいと感じました。

山形県の農業を盛り上げていきましょう



本間 貴大

村山総合支庁産業経済部
北村山農業技術普及課
(令和3年度採用)

〔入庁後の経歴〕
令和3年度 庄内総合支庁産業経済部
酒田農業技術普及課
令和6年度～現職



林業

森林資源の循環利用を進めるプランナー

- 主な業務：森林・林業施策の企画立案、先端技術 (ICT 等) を活用した再造林や間伐など森林の整備促進、木材など森林資源の利活用、林道整備の推進、山地災害の防止 など
- 主な配属先：農林水産部森林ノミクス推進課、総合支庁森林整備課、森林研究研修センター など

現在の担当業務は

森林の持つ機能を高め、山地災害から県民の皆さんを守ることを目的とした治山事業を担当しています。工事の発注・監督業務が主な内容で、治山ダムなどの完成により県民の皆さんの生活を支える責任ある仕事だと感じています。

県職員を選んだ理由は

出身は県外ですが、大学が山形だったこともあり景観や食に魅力を感じたことが理由の1つです。加えて、福利厚生がしっかりしていて休暇制度を活用しやすいと考え県職員を志望しました。

職場の雰囲気は

職場は柔らかい雰囲気だと感じています。気軽に仕事の進捗を報告でき、ときには笑い声が響いています。

県職員になって感じたギャップは

入庁前はデスクワーク中心のイメージだったので、出張が多いことに驚きました。各市町村の様々な山に行くことができるため自然を身近に感じることができます。



自然を身近に感じることができます



木戸 佑梨子

置賜総合支庁
産業経済部森林整備課
(令和3年度採用)

〔入庁後の経歴〕
令和3年度 村山総合支庁産業経済部
森林整備課
令和5年度～現職



水産

「山形のおいしい魚を届けたい」生産者の想いに応えます

- 主な業務：水産業の成長産業化に向けた施策の立案・実施、漁業就業支援、漁業調整、漁業取締り、試験研究業務 など
- 主な配属先：農林水産部水産振興課、庄内総合支庁産業経済部水産振興課、水産研究所、内水面水産研究所

現在の担当業務は

山形県の「県の魚」であるサクラマスについて、研究・調査を担当しています。現在はサクラマスの増殖を図るために河川におけるサクラマスの環境収容力を解明する研究を行っています。

県職員を選んだ理由は

幼いころから魚が好きで、水産の公設試験研究機関で働きたいと考えていました。そんな中で地元である山形県職員を選びました。野外調査や魚の生産など入庁前にイメージしていた業務内容を担当できており、水産職として県職員になって良かったと感じています。

県職員に興味がある方へメッセージを

現在の職場は調査や種苗生産など複数人で行う仕事が多いこともあり、職員同士の関わりが多くアットホームな職場だと感じています。水産職は他の職種と比べてもとても魅力のある仕事だと感じています。ぜひ一緒に働きましょう!



県の魚「サクラマス」の研究・調査を担当しています



富樫 宥哉

内水面水産研究所
内水面水産振興部
(令和5年度採用)



化学

山形の環境は私たちが守ります

- 主な業務：大気・水・土壌などの調査・研究、工場等の排ガス・排水・廃棄物の処理に関する監視・指導、地球温暖化対策 など
- 主な配属先：環境エネルギー部、総合支庁環境課、環境科学研究センター、企業局、衛生研究所 など

現在の担当業務は

工場から出るガスや排水を検査したり、解体工事現場で石綿(アスベスト)が飛散しないように作業しているか立入検査をしています。これらの仕事は山形県のきれいな空気・水、みなさんの生活環境を守ることに直結しているためやりがいを感じます。



県職員を選んだ理由は

地元の豊かな自然環境を守る仕事に魅力を感じて県職員を選びました。勉強してきた化学の知識を強みにしながら、県民に役立つ仕事であることも理由の1つです。

県職員になって感じたギャップは

入庁前はデスクワークで黙々と作業するイメージでしたが、実際は頻繁に出張に出て、たくさんの人と話をする仕事で、すごく活発な仕事だと感じました。

地元の豊かな自然環境を守る仕事です



黒沼 怜央

村山総合支庁
保健福祉環境部環境課
(令和4年度採用)

〔入庁後の経歴〕
令和4年度 企業局最上電気水道事務所
施設管理課
令和6年度～現職